

この夏、アメリカで

貴重な体験!!

「空の日」・「空の旬間」記念事業成田実行委員会（財）日航財団）が主催する「空の日」中学生派遣事業。成田空港周辺の中学生を対象に海外主要空港へ毎年10名派遣されていて、今年度、本町から神崎中3年生の越川貴仁さんと杉田舞さんが選ばれました。

派遣期間は7月23日から28日までの6日間。派遣先はアメリカ「シアトル、サンフランシスコ」

研修内容はボーイング社の工場見学やパイロット養成訓練所の見学、地元高校生との交流など。

普段の生活ではなかなか体験できない研修や異文化に触れた国際交流。二人の経験した内容を紹介します。



越川貴仁くん

今回の研修では、空港の見学をはじめとして普段見ることのできないボーイング社、ナパイロット養成訓練所の訪問など貴重な体験ができました。

今や経済の発展や国際交流を進める上で欠かせない場所として定着している空港は、

私たちの生活にとって重要な存在になっていきます。ちなみに僕たちの身近にある成田空港は一日に9万人もの人が利用しているそうです。見学地で印象に残ったことは、サン

フランシスコ空港の大きさです。成田空港の2倍の広さがあり2000年12月に完成した国際線ターミナルは、北米で最大規模を誇っているそうです。

また、ボーイング社では、ジェット機の製造過程を見学しました。飛行機一機の製造に多くの人々が携わって

て、使用する部品のほとんどが日本製と聞き驚きました。パイロット養成所では、126名が訓練を受けていて、今までに220名以上がここを卒業しているそうです。飛行機が飛ぶまでには、乗務員の訓練はもちろんです。点検や整備で多くの人が関わっているということがわかりました。

このほかにも地元の学生との交流や野球観戦など、たくさんの人々とふれあうことができ、充実した研修となりました。



▶ ワクワク・ドキドキしながら地元の高校生と楽しく交流



杉田 舞さん

アメリカに旅立つ前はいろいろな不安がありました。が、「ゴォー」と大きな音を立てて機体が上昇し、灰色だった窓が空色に変わった瞬間そんな不安は吹き飛んでしまいました。雲の上こんなに美しい世界があったのかとその空色に圧倒させられるとともに、一瞬にして景色だけでなく人の気持ちまで変えてしまう飛行機はすごい乗り物だと思います。

今回の研修ではいろいろな場所を見学し、飛行機を操縦するパイロットを始め、整備士・キャビンアテンダントなど様々な形で飛行機に携わっている人々に出会いました。そこでこの仕事の魅力を知ることができ、将来航空関係の仕事に就きたいと考えるようになったになりました。また、空の仕事に関わるすべての人が安全を第一に考えているということに気づき、それが「飛行



◀ サンフランシスコ空港を見学

機が乗り物の中で一番安全だ」と言われている最大の理由なのではないかと思えました。

今回の派遣事業は、一機の飛行機が飛ぶまでと同じように多くの人々の協力と支えによって実現しました。この貴重な経験をこれからの私の人生に生かすとともに、より多くの人々にこの研修で得たことを伝えていきたいと思いました。